

2021年6月16日

Press Release

アカマイ・テクノロジーズ合同会社

**BUYMA のエニグモ、アカマイのエッジコンピューティングを活用し、
Cookie 処理とアクセス集中の課題を解決
エッジコンピューティング「EdgeWorkers」を採用、
Cookie 規制の課題を解決するとともに、ピーク時のオフロード率を最大 50%向上**

アカマイ・テクノロジーズ合同会社（本社：東京都中央区、職務執行者社長：山野修、以下「アカマイ」）は、株式会社エニグモ（本社：東京都港区、代表取締役 最高経営責任者：須田 将啓、以下「エニグモ」）が、アカマイのエッジコンピューティング「EdgeWorkers」を採用したことを発表しました。EdgeWorkers を活用することで、パーソナライズされた快適なショッピング体験の提供に利用している Cookie の規制強化の課題を解決するとともに、オフロード率を最大 50%向上して、ピーク時のサイトへのアクセス集中の緩和に成功しました。

エニグモは、国内外の個人バイヤーが出品する商品を購入できるマーケットプレイス「[BUYMA](#)」を運営しています。BUYMA は、国内では入手困難なラグジュアリーブランドの商品や、未進出の新鋭ブランドなどのアイテムをリーズナブルに購入できることから人気が高まっており、現在約 850 万人の会員を擁しています。

エニグモは、上質なショッピング体験の提供には、Web サイトの安定性や利便性が非常に重要な要素だと捉えています。そのため、キャンペーンの告知直後やセール開始時などに起きるアクセス集中で不安定になっていた BUYMA のサイトで、コンテンツデリバリーネットワーク (CDN) によるキャッシュをこれまでより多くのページで利用することで、改善する案を検討していました。しかし CDN を利用すると、パーソナライズしたサービスの提供や広告の効果測定などのアクセス分析のために利用していた Cookie の処理が、うまく動かなくなることが検討上の課題でした。

近年プライバシー保護の観点からクライアント側での Cookie 処理の規制が強化されています。例えばあるブラウザ上の JavaScript API によってセットされる Cookie は、自社のサーバードメインに対するファーストパーティ Cookie であっても、7 日間で失効する仕様になっています。このため、利用者の再訪問隔が 7 日以上になることが多いサイトでは、サーバーサイドで Cookie をセットする必要があります。BUYMA でも処理をブラウザからサーバーサイドに移行していましたが、CDN によるキャッシュを導入するとオリジンサーバーに一部のリクエストが届かず、サーバーで行っていた Cookie の処理が正常に動作しなくなるという課題が懸念されました。

この課題を解決するために導入されたのが EdgeWorkers です。エングモは、オリジンサーバーで行っていた Cookie 処理のロジックをエッジで実行できないかと考えました。EdgeWorkers は、開発者が書いた独自のロジックを、世界中に分散配置されたエッジサーバー上に展開し、利用者のアクセス元に近い場所で駆動するエッジコンピューティングを実現します。開発者は JavaScript のコードを展開するだけで、分散されたネットワーク上で動作するサーバーレスコンピューティングとして利用できます。ピークトラフィックの負荷軽減を目的としたエッジサーバーの分散 Web キャッシュも同時に利用することができるため、エングモが構築した構成では、動的コンテンツの配信と Cookie のセットが、エッジで同時に処理可能となりました。その結果、アクセス集中時にコンテンツのキャッシュへのオフロード率が最大 50% 向上し、ピーク時のサイトへのアクセス集中の緩和と、オリジンサーバーの負荷軽減に成功しました。

エングモのサービスエンジニアリング本部 データテクノロジーグループ マネージャーを務める木村 慎太郎氏は、「長年にわたって私たちは、オリジンサーバー側のキャパシティプランニングや、データベース/アプリケーションのチューニングなどに苦心してきました。信頼性の高い Akamai Intelligent Edge Platform の動的コンテンツに対応したキャッシュと EdgeWorkers の組み合わせによって、これらの課題をシンプルに解決でき、運用・コストの両面で非常に高い効果を得られたと実感しています」と語っています。

また、エングモのサービスエンジニアリング本部 部長の小澤賢治氏は、「サービス全体を強化するためにも、さらなる“デベロッパーエクスペリエンス”の向上に取り組んでいく計画です。レガシーな仕組みで動いているシステムは、EdgeWorkers のようなエッジコンピューティング技術も採り入れて、よりモダンにしていく必要があると考えています」と述べています。

アカマイ 社長の山野修は、「ユニークなサービスで市場をリードする株式会社エングモ様の課題の解決に、EdgeWorkers を先がけて活用いただいたことを大変嬉しく思います。インターネットを介して提供されるサービスは、常にユーザーの期待を越える快適な体験を提供することが求められます。EdgeWorkers によって、開発者の創意工夫で、インターネットの安全、スピード、信頼性を支えるアカマイのエッジを自在に活用し、様々な課題の解決や革新的なアプリケーション、マイクロサービスを開発して頂く基盤が整いました。EdgeWorkers の提供するエッジコンピューティングは、社会の中で今後ますます重要な役割を担うことになるかと確信しています」と語っています。

EdgeWorkers 製品概要

<https://www.akamai.com/jp/ja/products/performance/serverless-computing-edgeworkers.jsp>

アカマイ について :

Akamai は世界中の企業に安全で快適なデジタル体験を提供しています。Akamai のインテリジェントなエッジプラットフォームは、企業のデータセンターからクラウドプロバイダーのデータセンターまで広範に網羅し、企業とそのビジネスを高速、スマート、そしてセキュアなものにします。マルチクラウドアーキテクチャの力を拡大させる、俊敏性に優れたソリューションを活用して競争優位を確立するため、世界中のトッ

ブランドが Akamai を利用しています。Akamai は、意思決定、アプリケーション、体験を、ユーザーの最も近くで提供すると同時に、攻撃や脅威は遠ざけます。また、エッジセキュリティ、ウェブ/モバイルパフォーマンス、エンタープライズアクセス、ビデオデリバリーによって構成される Akamai のソリューションポートフォリオは、比類のないカスタマーサービスと分析、365 日/24 時間体制のモニタリングによって支えられています。世界中のトップブランドが Akamai を信頼する理由について、
<www.akamai.com/jp/ja/>、<blogs.akamai.com/jp/>および Twitter の [@Akamai_jp](https://twitter.com/Akamai_jp) でご紹介しています。

アカマイ・テクノロジーズ合同会社について:

アカマイ・テクノロジーズ合同会社は、1998 年に設立された、アカマイ・テクノロジーズ・インク（本社：米国マサチューセッツ州ケンブリッジ、最高経営責任者：Tom Leighton）が 100%出資する日本法人です。アカマイは、ウェブサイト/モバイルアプリの最適化、快適なユーザー体験、堅牢なセキュリティを実現する各種ソリューションを提供しており、日本国内では約 650 社が当社サービスを利用しています。

※アカマイとアカマイ・ロゴは、アカマイ・テクノロジーズ・インクの商標または登録商標です

※その他、記載されている会社名ならびに組織名は、各社の商標または登録商標です

※本プレスリリースの内容は、個別の事例に基づくものであり、個々の状況により変動するものです